

第20回日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会

8月15日

グループリーグ3回戦	天候	雨時々曇	風	弱	ピッチの状態	芝良好
	気温	31℃	湿度	77%		

コンサドーレ札幌ユース（U-15）2 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 ジェフユナイテッド市原・千葉（関東5）

得点者 安藤 20分
玉岡 51分

得点者 分

システム	システム
4-4-2	4-3-3

前日の夜から降り始めた雨の為、気温31℃・湿度77%とかなり蒸し暑いコンディション。
 ほぼ決勝トーナメント進出が手中にあるコンサドーレだが、ここは勝って、予選リーグ1位で突破したいところだ。
 今日の先発メンバーは、今大会調子が上がらない古田に代わって、打矢が入った。早速その起用がうまく機能した。
 3分熊澤から左サイドに出たボールを、打矢がすばらしいコントロールでゴールラインへと切れ込む。ゴール前で玉岡が
 ベストタイミングであわせたがゴールには結びつかない。しかしこのゲームのチャンスメーカーとしての活躍を予感させる
 動きであった。両チームとも似たようなチームカラーだが、互いにシュートがないまま15分が過ぎた。
 ジェフのコーナーキックも決め手を欠く。コンサドーレも打矢・安藤に長いパスを送り、揺さぶりをかけるが、崩すまでは
 いかない。16分安藤の頑張りから2本続けてのコーナーキックも生かし切れない。
 ゲームが動いたのは飲水タイムが終わった直後の20分、打矢から左サイドの鶴野へのパス。ランウィザボールで
 駆けあがり、やや浅めから早いクロスを入れる。ニヤサイドに飛び込んだ玉岡に気を取られたジェフDF、フォアサイドに
 詰めていた安藤がゴールへ押し込み、待望の先取点をあげる。30分にもGKのキャッチミス拾い、打矢がフリーで
 シュートを放つが、力みすぎて僅かにバーを超えていく。その流れでつかんだ3連続コーナーキックも追加点に結びつかない。
 中盤スモールフィールドを制していたのはコンサドーレであったが、ボールを奪った後のポゼッションが収まらないまま
 前半を終了。メンバー交代は無しで後半が始まった。同グループで僅かに決勝トーナメント進出の可能性のある
 エグゼ90は、前半0-2リードされているので、たとえ追いつかれても焦ることはない。しかし追加点を奪い1位で上がりたい。
 一方、予選リーグ3勝を目指すジェフは後半開始から攻勢をかける。立ち上がり5分はジェフのペースで進むが
 序序にコンサドーレが中盤を制していく。玉岡がクロスを入れると見せかけ、意表をつくシュートは惜しくもポストに
 嫌われる。46分、今日チームに貢献をした打矢に代え古田を投入する。追加点は49分、右サイドから大吉がクロスを
 入れる。一度はジェフGKにクリアされるが、ペナルティエリアの外から鶴野が、シュート気味のパスを玉岡へ送る。
 アウトサイドに当てコースを変えたボールは、無人ともいえるゴールへ吸い込まれていった。
 得点者は玉岡だが、思い切ってシュート気味のパスを送った鶴野の得点といってもいいだろう。
 その後もコンサドーレのペースで試合は進み、再度玉岡がGKと1対1となる決定的な場面もあったが、結局2-0の
 完勝で決勝トーナメント進出を決定した。明日1日休息日を挟んで、明後日ヴェルディとの対戦が待っている。

戦評 加藤 孝俊